

令和2年度事業報告承認の件

I 病虫害等防除推進事業

〈事業の内容〉

農作物や花木類に発生する病虫害や雑草の防除法に関する指導・助言、関連情報の提供、植物防疫研修会の開催、農薬適正使用の啓発等を通じ、安全で安心な県産農産物の安定生産に寄与する事業であり、事業費は会費および県補助金によった。

※ 県補助金の名称:公益社団法人石川県植物防疫協会事業費補助金

(1)防除相談・指導業務

農家、農業団体等の現場指導者から持ち込まれる病虫害等の診断・同定と防除指導や農作物の栽培法について20件の相談に応じた。

また、農薬の適正かつ効率的な使用に基づく病虫害・雑草の防除を推進するため、県が編集する「農作物病虫害・雑草防除指針」を増刷(380部)し、会員、現場指導に携わる農業団体等に提供した。

(2)農薬危害防止啓発業務

県と連携して農薬危害防止キャンペーン(6月1日～8月31日)に取り組み、当協会ではチラシ7,400枚を作成・配布し、農家や一般県民に対して農薬に対する正しい知識と適正な使用を啓発した。

また、農薬工業会が発行する「農薬中毒の症状と治療法」を100部購入し、県の保健福祉センターを通じて医療機関に提供し、農薬中毒が発生した場合の適切な対応に備えた。

(3)研修会開催業務

農業の現場指導者を対象に技術力向上を目的として、病虫害や雑草の防除等に関する新しい専門知識等について専門家を招聘した研修会を、約100名の参加者で毎年7月に開催している。しかし、令和2年度は新型コロナウイルスの感染者が多発したため感染拵

大の防止が急務となり、開催日を遅らせて12月1日開催を関係者の皆様に案内していた。しかしながら10月末日になっても新型コロナウイルスが終息する状況とはならず、この時点で今年度の開催を断念した。

(4) 広報業務

会報「植防いしかわ」を年3回(7月、11月、3月)発刊し当協会の行事や事業の進捗状況、殺菌・殺虫剤の実験展示圃成績等を掲載し、会員、市町、農業団体等に紹介した。

また、県が発表する病害虫発生予察情報(年8回)を毎回増刷し、JA、NOSAI等の現場指導者、農薬卸業者等に伝達するとともに、当協会のホームページにも掲載して農家や一般県民への周知を図った。

(5) 無人ヘリコプター防除推進業務

水稻、大麦、大豆等の病害虫に対する無人ヘリコプターによる防除について、人畜の安全性に対する確保と周辺環境への汚染を未然に防止するため、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会との連携のもと、オペレーター、ナビゲーターに対する安全講習会を、毎年7月に開催している。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため安全講習会は実施できなかった。

水稻病害虫の基幹防除が中盤を過ぎた8月3日に、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会の役員と連携し、安全操縦を啓発するため散布現場への早朝巡回を行った。

オペレーターのさらなる資質向上(操縦の基本事項の遵守、操縦技術)に向け、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会と共催し、毎年9月下旬に「無人ヘリコプター飛行技術競技大会」を開催している。これは11月に行われる全国の競技大会の県予選として実施しているものであるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全国競技大会が行われなかったため、県段階の競技大会も実施しなかった。

II 農薬試験事業

〈事業の内容〉

農薬による病害虫及び雑草の防除を安全かつ効率的に実施することを通じて県産農産物の安定生産・安定供給を図る目的のもと、防除効果の高い開発未登録農薬の農薬登録に向けた圃場試験を実施した。

また、新規に登録された農薬の農家への普及に先立ち、県内各地で試験的に使用して現

地適応性を検証する試験を実施した。事業費は試験を依頼する農薬メーカー等の全額負担とした。

(1)開発未登録農薬の実用性試験

農産物の安定生産・安定供給には、病虫害や雑草の防除を安全かつ効率的に実施することが重要であり、そのためには防除効果がより高く、毒性がより低い新農薬を迅速に農家に普及する取り組みが必要となる。

新農薬は、農薬取締法に基づき国の審査を受け農薬登録されなければ販売できない。審査には、公的機関で実施された薬効、薬害、作物残留等に関する試験データが必要となる。当協会では、新農薬の登録審査に必要な薬効・薬害に関する一連の試験を「開発未登録農薬の実用性試験」として、石川県農林総合研究センターとの連携のもと、毎年実施している。

令和2年度は75剤(前年125剤)の試験を一般社団法人日本植物防疫協会から受託し、当協会では48剤(前年69剤)を試験し、残り27剤(前年56剤)は、石川県農林総合研究センターで試験を実施した。

※ 県の事業名：農薬等新資材地域適応性実証事業

表1 令和2年度 開発未登録農薬の実用性試験実施件数

実施機関 試験区分			農林総合研究センター					石川 植防	合計
			育種栽培 研究部	資源加工 研究部	砂丘地農 業研究セ	能登特産 物栽培G	林業試験 場		
新農薬 実用化 試験	水 稻	殺菌剤		2				2	
		殺虫剤		3			25	28	
		薬 害		3				3	
	大 麦	殺菌剤							
		殺虫剤							
	大 豆	殺菌剤							
		殺虫剤					2	2	
	野 菜	殺菌剤		2			1	3	
		殺虫剤	2		4	1		7	
		薬 害							

実施機関 試験区分			農林総合研究センター					石川 植防	合計
			育種栽培 研究部	資源加工 研究部	砂丘地農 業研究セ	能登特産 物栽培G	林業試験 場		
新農業 実用化試験	花き	殺菌剤							
		殺虫剤							
		薬害							
	落葉 果樹	殺菌剤			3				3
		殺虫剤							
		薬害							
	寒冷地 果樹	殺菌剤				1			1
		殺虫剤				1			1
		薬害							
	樹木	殺菌剤							
		殺虫剤							
	作物 残留 試験	水稲						3	3
		野菜						15	15
		果樹						2	2
	新植物 調節剤 実用化 試験	除草剤	水稲	4					4
および 生育		大麦							
		大豆							
調節剤 試験		野菜							
		果樹		1					1
		残留							
合計			7	10	7	3	0	48	75
前年合計			10	27	11	6	2	69	125

石川県植物防疫協会:48剤(薬効試験28剤、作物残留試験20剤)

石川県農林総合研究センター:27剤(薬効試験24剤、薬害試験3剤)

(2)新規登録農薬の現地適応性試験

新規に登録された農薬について、農家普及に先立ち県内各地で試験的に使用し、効果の安全性、薬害発生の有無等を確認する「新規登録農薬の現地適応性試験」を実施した。

農薬の登録に当たっては、効果に関するデータがAからDまでの4段階で判定され、C判定以上が農薬登録の条件となっている。

※A:効果が高い、B:効果がある、C:効果は認められるが、その程度はやや低い、
D:効果は低い

新規に登録された農薬の効果判定レベルは公表されておらず、特にC判定で登録認可された農薬は、使用時期や場所によっては期待するほどの効果が得られない場面も想定される。このため、新規登録剤については本試験を実施している。

令和2年度は45剤で「普及性あり」の判定結果が得られた。これらの農薬は、今後県内に広く普及されることになる。

表2 令和2年度 新規登録農薬の現地適応性試験実施箇所数

農林総合事務所等 区分	南加賀	石川	県中央	中能登	奥能登	石川植防	箇所数計	農薬数計
水稻・畑作物の除草剤	8 (8)	10* (9)	11 (7)	9* (8)	12 (10)	10 (8)	60 (50)	33 (30)
水稻・畑作物の殺菌・殺虫剤	5 (4)	3 (2)	4 (5)	5 (5)	3 (2)	—	20 (18)	10 (9)
野菜の殺菌・殺虫剤	3 (4)	1 (1)	1 (3)	2 (3)	4 (1)	—	11 (12)	11 (12)
果樹の殺菌・殺虫剤	2 (4)	1 (3)	2 (4)	2 (4)	1 (2)	—	8 (17)	4 (9)
合計	18 (20)	15 (15)	18 (19)	18 (20)	20 (15)	10 (8)	99 (97)	58 (60)

注1) ()は令和元年度 注2) 令和元年度の未了4箇所は令和2年度実績に入っている

注3) * 試験実施中1剤を含む

表3 主な行事、会議等

月/日	会議・行事名	場所	概要
6/4	事務監査	NOSAI 会館	令和元年度の事業執行状況、収支計算書等の監査
6/4	第31回虫供養	農業試験場	虫塚にて仏式で供養

月/日	会議・行事名	場 所	概 要
6/12	第1回理事会(決算理事会)	NOSAI 会館	令和元年度事業報告、収支決算の承認、通常総会の日時、場所、提出議案の決議
6/12 ・15	水稲除草剤展示圃試験の現地中間検討会(6/12 加賀、6/15 能登)	現地圃場	試験地巡回による効果の確認 (事務局のみで巡回)
6/25	農業用無人ヘリコプター運営協議会総会	農業会館	令和元年度事業報告、収支決算の承認、令和2年度事業計画等の審議
6/30	第37回通常総会	NOSAI 会館	令和元年度事業報告、収支決算の承認、令和2年度会費徴収額及び役員報酬額の決議、理事及び監事の選任の決議等
7/31	植防いしかわ第154号発刊	—	公益社団法人石川県植物防疫協会第37回総会の概要、第31回虫供養式典等
8/3	無人ヘリコプター安全操縦啓発巡回	現地圃場	無人ヘリコプター運営協議会役員による現地巡回
10/1	水稲等除草剤実験展示圃試験成績検討会	NOSAI 会館	新規登録除草剤についての地域適応性を検討
10/13	独立行政法人農林水産技術センター(FAMIC)農薬検査部による農薬GLP適合確認に係る査察	NOSAI 会館 現地圃場	散布機などGLP試験で使用する機器や農薬、試験報告書の管理状況の確認と模擬散布によるGLP試験操作状況の確認
11/30	植防いしかわ第155号発刊	—	FAMICによる査察の状況、水稲等除草剤実験展示圃成績検討会の概要等
11/18	植物防疫北陸地区協議会	農政局	植物防疫、農薬行政に関する情報交換
11/25	殺菌・殺虫剤実験展示圃成績検討会	NOSAI 会館	新規登録殺菌・殺虫剤の地域適応性を検討
12/14	(同上)追加成績検討会	農総研	11/25の成績検討会の追加分について検討
2/16	試験委員会	NOSAI 会館	次年度の実験展示圃設置薬剤の選定

月／日	会議・行事名	場 所	概 要
2／26	第4回理事会	NOSAI 会館	令和 3 年度事業計画および収支予算案の審議等
3／3	植防いしかわ 156 号発刊	—	令和 2 年度主要病害虫の発生状況、殺菌・殺虫剤実験展示圃成績検討会の概要等
3／16	令和 3 年度実験展示圃設計打合せ会議	Web 会議	令和 3 年度実験展示圃について、農林総合事務所の試験担当者及びメーカーの担当者が参加して、試験の実施についての内容確認等